

# 特許情報活用研究会 in 名古屋

## 平成29年度 ご案内 & お申込み要領



- 期間:** 平成29年5月～平成30年4月
- 回数:** 毎月1回(原則第2木曜日)  
第1回目:平成29年5月11日(木)  
14:30～17:30
- 場所:** (株)レイテック名古屋支社 会議室(2F)
- 参加費:** 無料
- 募集人数:** 15名(先着順)
- 参加条件:** 知的財産業務やR&Dに携わっている方
- 主催:** 株式会社レイテック

# 特許情報活用研究会 in 名古屋

(=PAT-LIST研究会)

開催について

下記の通り開催いたしたく会員募集を行います。

## 参加資格

知的財産業務やR&Dに携わっている方(プロバイダーは除く)で特許情報のみえる化、特許マップの活用に関心をお持ちの方。

## 目的

『特許情報活用研究会』は、以下の目的で活動しております。

1. PAT-LISTという特許情報活用ツールの操作を熟知し、このツールを用いて自己の業務に特許情報の有効活用を行い、会社に貢献する。
2. 特許情報活用の可能性を追求し、有益な活用法を創出し、PAT-LISTの機能UPや改善の提案を行う。
3. 会員間の親睦を図り、様々な業種の方々との情報交換を行い、特許情報活用の仲間作りを行う。

## 運営方針

異業種間の自由闊達な討議と共に、笑顔、挨拶を重んじ、会員が設定したテーマによる実践道場での研究・演習を行うことにより、自己研鑽を狙います。

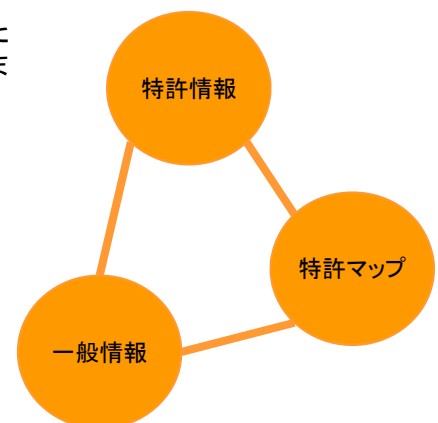
《主な研究テーマの例》

1. 事業戦略の研究
2. 研究・開発戦略の研究
3. 知財戦略の研究
4. 検索・解析ツールに求められる機能研究
5. PAT-LISTの使い方研究
6. ツールの比較研究
7. 検索解析方法の研究 等

※上記以外にご希望の研究テーマがありましたら、ご相談下さい。

桐山 勉氏 (特許情報活用研究会・塾長)等が指導アドバイザーとして参加されます。

### ■実践研究・演習



### ■桐山氏最新記事

「特許情報の分析・解析」情報の科学と技術 8号(2010)  
(<http://www.infosta.or.jp/journal/back2010j.html#8>)

「特許情報検索と解析の将来展望」Japio YEARBOOK 2015  
([http://www.japio.or.jp/00yearbook/files/2015book/15\\_2\\_04.pdf](http://www.japio.or.jp/00yearbook/files/2015book/15_2_04.pdf))

「特許情報検索と解析の将来展望」Japio YEARBOOK 2016  
([http://www.japio.or.jp/00yearbook/files/2016book/16\\_2\\_02.pdf](http://www.japio.or.jp/00yearbook/files/2016book/16_2_02.pdf))

### ■特許情報活用研究会・塾長 工学博士 桐山 勉氏

情報科学技術協会(INF OSTA)-SIG-パテントドキュメンテーション部会のコアパーソン、はやぶさ国際特許事務所 顧問、一般財団法人日本特許情報機構の特許情報研究所の客員研究員(非常勤)、PAT-LIST研究会(名古屋)の塾長などで活躍中。



## 特許情報活用研究会って何？

『特許情報活用研究会』は、研究会活動を推進すると共に、特許情報活用のプロを目指した訓練の場を提供いたします。

会社での貴重な時間を割いて参加していただく会員には、会社に何らかの成果を持ち帰っていただくと共に、自らを鍛えていただき、特許情報活用、特許マップ作成のスキルアップを図っていただきます。

## 全て参加しなくていけないの？

グループワークで継続的な研究が中心となりますので、極力、同じ人が毎回参加して頂くようお願いしております。但し、事情によりメンバー変更することも可能です。全回数(12回/年)の7割以上の参加者には希望に応じ修了書を発行します。

## どのように研究を進めるの？

グループワークが中心となります。グループメンバーで課題(=研究テーマ)を定め、その課題を解決するために「PAT-LIST」シリーズを使用しながら具体的な解決手法を学んでいきます。研究成果に加え、この研究過程(=考え方や使い方、ノウハウなど)に価値があります。

## 入会資格は必要なの？

必要ありません。但し、他のメンバーとの共同研究(グループワーク)がメインとなりますので、協調性・積極性・創造性のある方が望ましいです。ただし、同業及び個人でご参加の方はお断りすることがあります。

## 秘密保持、成果物の帰属は？

参加者間での秘密保持は結んでおりません。各自の判断により開示可能な情報をベースに研究を進めます。研究成果は、主催者のレイテックに帰属します。(今までに4件の出願実績あり、平成23年度特許2件、平成21年度特許1件、平成20年度実用新案1件)

また、発明を出願する場合の出願人は(株)レイテックとします。ただし、成果物から収益が発生した場合には適切な利益分配を受けられます。

## 入会するメリットは？

研究期間中、「PAT-LIST」シリーズを1年間のみ無料でご使用いただけます。更に、ショートレクチャーで情報活用の基本や考え方を学ぶと共に、異業種の知財メンバーとの意見交換、情報交換が行えます。一年間の開催期間中に秋季発表会、成果発表会も組み込まれており、研究成果(OUTPUT)も明確です。

## お金は掛かるの？

基本的に無料です。ただし、必要に応じてテキスト代をいただくことがあります。

## PAT-LISTの使い方は教えてくれるの？

もちろん。PAT-LISTは、特許情報をみえる化する有用なツールです。研究会を有意義に体験していただくためにも、入会后、数ヶ月で基本をマスターいただくように指導します。

## この研究会の実績は？

平成18年に東京で発足し、今年で東京は11年目、名古屋は8年目を迎えています。この間の延べ参加企業等は285社、延べ参加人数は371人となります。秋季発表会(10月)と成果発表会(4月)には多くの方が関心を示され、平成26年度第9期の成果発表会(東京)では117名が聴講されています。平成27年度研究会は東京が3グループ、15名、名古屋が3グループ、18名で研究を行いました。

## PAT-LIST資格認定に有利ですか？

検索システムの利便性が高まり、誰でも簡単に特許調査ができる時代です。それに伴い、特許情報を知財戦略、研究開発戦略、事業戦略等に活用することが日常的に行われつつあります。

レイテックでは、特許情報活用の能力UPを狙い、PAT-LISTを効果的に活用できる技能者の資格認定(4段階)を設けました。特許情報活用研究会に参加すると、活動を通じてPAT-LISTを使いこなせるようになり、資格認定に大変有利になります。過去8年間で137名が資格を取得されています。

# H29年度 特許情報活用研究会 in 名古屋 参加申込み用紙

**第1回日時:** 平成29年**5月11日(木)**  
**研究会** 14:30~17:30  
**懇親会** 17:45~(有志)  
 毎月1回(原則第2木曜日)

**会場:** (株)レイテック 名古屋支社 会議室(2F)  
 〒460-0003 名古屋市中区錦3-11-25  
 アーク栄錦ニュービジネスビル 5階 503号室

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」1番出口より徒歩約5分  
 地下鉄東山線・名城線「栄駅」1番出口より徒歩約5分

**募集定員:** 15名(先着順)

**お申込みは下記のいずれかの方法で:**

- 方法1)下記お申込み用紙の内容を、電子メールの本文に記載し、電子メールタイトルに「H29年度特許情報活用研究会 in 名古屋 参加お申し込み」とご明記の上、nagoya@raytec.co.jp までメール送信下さい。
- 方法2)下記お申込み用紙に必要な事項をご記入の上、指定番号へFAX下さい。



**お問合せ先:**

株式会社レイテック 特許情報活用研究会事務局  
 電話 052-228-9260

## FAX 052-228-7997

会社名	フリガナ	住所	〒
所属		役職	
参加者	フリガナ	連絡先	電話
			FAX
			Eメール

Q1: 特許情報解析ツール、検索データベースは何をご使用ですか？

1. PAT-LISTシリーズ  
 2. 他社検索データベース(名称 \_\_\_\_\_)  
 3. 他社解析ツール(名称 \_\_\_\_\_)

Q2: PAT-LISTシリーズに関してお尋ねします。該当するものに○を付けて下さい。

1. 購入し頻繁に使用している  
 2. 購入し一時使用したが現在は使用していない  
 3. 購入したが使用していない  
 4. CN/WEBを使用している  
 5. PAT-LISTの保守契約を結んでいる  
 6. 購入を検討している  
 7. 購入は未定だが使用してみたい  
 8. その他( \_\_\_\_\_ )

Q3: 参加したい研究グループを1つだけ選択し、○を付けて下さい。

1. 特許マップ基礎研究グループ  
 2. PAT-LIST活用研究グループ

Q4: 研究したいテーマに○を付けて下さい(複数選択可)。

1. 事業戦略の研究  
 2. 研究・開発戦略の研究  
 3. 知財戦略の研究  
 4. 検索・解析ツールに求められる機能研究  
 5. PAT-LISTの使い方研究  
 6. ツールの比較研究  
 7. 検索解析方法の研究  
 8. 侵害調査や権利化状況確認の研究  
 9. その他( \_\_\_\_\_ )

<注意事項>

- ※申し込み用紙はお一人様1枚をご使用下さい。複数人の申し込みは、人数分コピーしてご使用下さい。  
 ※参加申し込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。定員オーバーの場合、参加お断りする場合がございます。  
 ※お申し込みいただいた個人情報は、株式会社レイテックにて厳重に管理し、当社の営業活動やDM案内の他には使用いたしません。

17.01.30

